

令和 6 年度障がい福祉分野の I C T 導入モデル事業 報告

＜法人名＞ 大阪福祉事業財団

＜事業所名＞ あさひ希望の里

事業所概要

サービス種別 (複数ある場合は主たるサービス)	生活介護
所在地	大阪市旭区太子橋1-16-22
職員数 () 内は常勤換算数	27 (24.1) 名
事業所の特徴	障がい者通所施設・生活介護事業所

I C T 導入の背景・目的

➤ 導入前の状況

- 生活介護の利用者の高齢化（平均年齢49.7歳、最高齢71歳）が進み、多くの方に生活習慣病が見られ、筋力低下・摂食嚥下による転倒・誤嚥のリスクがある。
- 理学療法士や機能訓練指導員の研修を受けるなどにより、事故が起こさない支援を行っているが、転倒や誤嚥を防止するためには筋力の維持・増進が不可欠で、その中でも食事レベルの向上が必然。
- 生活介護の利用者の中には法人内で併設するGHで生活される方も多く、一日の食生活をトータルに支えるため、在籍する管理栄養士の業務負担が重くのしかかっている。

➤ 導入の目的（上記への対応）

- 献立作成や発注業務などを効率化することにより、利用者一人ひとりの健康状態を把握し、食事相談も一手に引き受ける管理栄養士の業務軽減を行う。

導入機器

- 導入した I C T
 - 栄養計算ソフト（プロカロリー）
 - ノートパソコン（dynabook）

I C T 導入の実施体制の整備

➤ 職場内の説明

- 施設内の給食会議で導入について討議を実施
- 施設内での全体会議で導入意図の説明を実施

➤ 導入の準備

- 簡易な操作で、容易に導入にすることができた

効果検証

1 件当たりの平均処理時間の削減について

	導入前（分）	導入後（分）	削減率（%）
発注業務	90	60	33.3
献立作成業務 （常食・個別配慮食）	600	420	30
栄養相談業務	240	150	37.5

- 発注業務、献立作成業務、栄養相談業務ともに、30%程度の時間が削減できた。